

“人間一家畜—環境をめぐるマイクロ連環系の科学”の構築 ～青海チベットにおける  
牧畜語彙収集からのアプローチ

平成 26 年度第 1 回研究会報告

日時：平成 26 年 5 月 10 日（土曜日）（13 時より 19 時）  
11 日（日曜日）（10 時より 15 時半）

場所：AA 研 302 号室

報告者名：星泉（AA 研）

参加者（8 名）：海老原志穂、小川龍之介(研究協力者・帯広畜産大学)、山口哲由(研究  
協力者・農業環境技術研究所)、津曲真一、ナムタルジャ、平田昌弘、別所裕介、星  
泉

5 月 10 日（土）

- ・ 研究会 13:00 – 19:00（場所：AA 研）
  - 本研究課題の目標（星泉、別所裕介）
  - 共同研究員紹介（全員）
  - ユーラシア各地の乳文化とチベット各地の乳文化の特徴（平田昌弘）
  - 乳文化に関する語彙リストの検討（平田昌弘、小川龍之介）
  - チベット牧畜語彙のリストアップと選定（全員）

5 月 11 日（日）

- ・ 研究会 10:00 – 15:30（場所：AA 研）
  - 牧畜語彙のリストアップと選定続き（全員）
  - 具体的な作業と技術的な問題について（全員）
  - 次回研究会および現地調査についての相談（全員）

<今回の研究会の成果>

専門の異なるメンバーの初顔合わせの機会であったため、代表の星と副代表の別所  
が本研究課題に関する説明を行い、最終的な成果のイメージを共有するとともに、全  
員がこれまでの研究に関する紹介を行った。

次に、ユーラシアの乳文化研究の専門家である平田が、乳文化の基本、およびユー  
ラシア各地の乳文化の特徴について解説するとともに、チベット各地の乳文化の特徴  
について、これまでのフィールドワークをもとにした概説的な報告を行った。

続いて、平田と小川が用意した乳文化に関する語彙リストの検討を行い、その他の  
語彙についてもリストの作成に向けて、全員で詳細な検討を行った。

最終的な成果となる語彙集と、そのもととなるデータベースの作成についても、技  
術的な問題を中心に検討を行い、今後の作業分担を行った。

最後に次回研究会および現地調査に関する具体的な相談を行った。